

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM study tour 2024 夏期
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	14000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 5 分)大学敷地内のホテルに宿泊
教養娯楽費	0 円	
被服費	10000 円	
雑費	0 円	
その他	30000 円	例:ショッピング、観光地でのアクティビティーなど
合計	57000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で一部両替し、現地の ATM の利用や両替所で一部
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードは基本的に VISA を使う感じで、JCB が使える場所は少なく、ATM でも JCB を取り扱っていないものが多い。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カードは購入せず、アプリ(Airalo)にて E-SIM を 10G 購入。大学内やホテルには Wi-Fi が備わっているので、二週間であれば 5G ほどでも足りる。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
Grab のカード登録は日本にいないと SMS が受信できないので、国内で済ました方が良いが、カードを登録しなくても現金で支払えば大丈夫。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: buddy)
特記事項: 体調不良や困った時は buddy 達に相談し、親切に対処してくれた。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
犯罪には巻き込まれてないが、スマホのショルダーチェーンがあると便利かもしれない。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学内やホテルでは Wi-Fi、外出時は E-SIM を使い、不便はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

部屋内の設備は完全だとは言えなかったもので、ショッピングモールなどに百貨に出かけ、自分たちが暮らしやすいようにアレンジした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

日本の授業とは違い、かなり積極的な発言を求められる授業のスタイルで、面白い先生が多かった。質問してくる内容は高度なものではなかったため、答えやすいし、ポジティブなコメントもネガティブなフィードバックも正直に言ってくれるので、自信がつき、参考になった。プレゼンが授業毎にやってくるから、人前に立って話すトレーニングになった。特に悪い点はなかったが、強いて言えばもう少し内容について深く学びたかった。

2)課外プログラムについて

観光の名所を回る感じで、日本語のガイドや英語のガイドをつけてくれるので、文化や慣習を沢山学べた。

3)現地での生活に関すること

授業がある日はクラスが終わった後にショッピングに出かけ、free day は自分たちでスケジュールを組んだ。プログラム上かなり充実していて、特に課外活動の後は疲れてホテルに直行することが多い。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

プレゼンの原稿や資料作りをするときに分からないことや英語の表現について聞き、かなり助けられた。Buddy 達の出身も様々で、課外プログラムで異なる宗教の寺院を訪れた時は案内と解説をしてくれた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業が早く終わった日は数人で集まって、各国の文化の違いや自分たちの家族紹介をした。また、昼休みに地元のレストランに連れて行ってくれた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本のように民族的、宗教的な均一性が高い国ではないので、多様性が感じられた。互いに尊重しあって、共存している雰囲気が強く、異文化同士の理解に努めたいという情熱が伝わってくる。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

全体的に物凄く楽しい 2 週間でしたが、唯一の後悔は英語力不足だった。現地の学生はかなり英語ができ、シンプルな単語でも伝わったものの、自分を十分に伝えきれていないのが少し悔しかったので、今後は一層英語勉強に注力していきたい。Buddy 達も先生方も現地の人も非常に親切な方が多く、積極的にコミュニケーションをとれば、すぐに打ち解けられたので、恐れず大胆に話かけてみるのはいいかも。また、注意点があるとすれば、やはり食べ物で、buddy たちが結構辛いものから守ってくれたが、知らないところでお腹を壊すこともあるので、正露丸か何らかの薬は必須。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM
-----	-----

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1000 円	
現地通学費	5000 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	5000 円	
被服費	0 円	
雑費	500 円	
その他	0 円	例:
合計	31500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 3万用意した
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金は屋台などで確実に使えるから多く持っていくべき
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
UTM の宿泊先のコンビニで買えるから問題ない
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
VISA しか使えない店が多いのでJCBとかの人にはなるべく変えたほうが良い

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: バディ)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省からの連絡を何度も見た
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
不自由なくできた

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
思った以上に衛生面はよかったのでいろんなご飯にトライしてみたい

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
いろんなことが学べたからよかったが unnecessary プレゼンの暗記が多いと感じた。
2)課外プログラムについて
楽しかったが暇な時間が多かった
3)現地での生活に関すること
日本とは異なる他民族国家なので様々な文化の違いを感じた

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ホテルなどでトランプなどをした
2)プログラム外で交流等を行った、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
外に出たトランプをした

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
宗教の違いから生じる問題が多々あった

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

まず初めにマレーシアは素晴らしい国です。異なる民族がともに暮らしているにもかかわらず大きな問題があまり起こりません。そして注意してほしいのはバディとの距離感です。彼らは友好的であるため一度ホテルの部屋に入れるとそれ以降もついてくることもあります。なので、しっかりコミュニケーションをして適度な距離感を保てるようにしましょう。人にもよりますが写真はいっぱい撮ってください。見返したくなる時がふいに来ます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM Study Tour
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1,500 円	SIM カード
現地通学費	0 円	(研修先まで 5 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	10,000 円	普段、日本で着る服や靴を買った
雑費	0 円	
その他	60,000 円	例:お土産代、観光費、交通費
合計	100,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 3 万円 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください JCB など他社のカードは使えないときがあるため VISA のカードを持っていくことをおすすめします。 また、カードが使えないときもあるため専用の ATM でクレジットカードを使って現金をおろしていた。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 クアラルンプール国際空港で SIM カードを買った。 以前、海外に行ったときに事前にインターネットで買った SIM カードが使えなかったことがあるため現地で買うことをおすすめします。 SIM カードの入れ替えもやってくれた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか ホテルの部屋でゴキブリが出たので虫が苦手な方は強力なゴキブリ用のスプレーを日本から持っていくことをお勧めします。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ ホテルの近くで夜にデモが行われると事前にバディから連絡があったので念のためその日はホテルで過ごした。 犯罪には巻き込まれなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 空港で買った SIM カードは問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

2週間滞在するということで、より快適な生活をするためにショッピングセンターに入っているダイソーに行って軽くDIYした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業でみんなの前で発表する機会が多くあったのは良かったと思う。
実験をしたときにガバガバだった部分があった。

2)課外プログラムについて

バディが連れて行ってくれるのですがプチハブニングが起きたりしたが良い思い出になった。

3)現地での生活に関すること

このプログラムはバディと話す機会が多くあり、バディにマレーシアに留学にきている学生もいたのていろんな国の人たちと仲良くなれるのが一番の特徴だと思う。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

プログラム内にたくさんマレーシア観光が含まれており、バディとたくさん交流することができた。バディと深い話もたくさんできた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

スケジュールがすべて終わった後にバディがご飯に連れて行ってくれたり一緒に買い物に付き添ってもらったりした。
また、バディの友達がおすすめのご飯に連れて行ってくれた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

モスクを訪れてイスラム教について知れた。
また、プログラム内でチョンカというマレーシアの伝統の遊びを教えてもらい夜遅くまで友達とチョンカをするくらいはまった。
バッシングのはやさにとても衝撃を受けた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

このプログラムの一番の特徴はバディとたくさん触れ合えることなので海外の友達を作りたい方はおすすめプログラムだと思う。私はこのプログラムに参加してバディや同じプログラムに参加した明治の学生からも得られることがたくさんあった。また、少しは英語が話せないとバディとコミュニケーションをとるのが難しいと思ったので英語を勉強しようと決意した。マレーシアでの滞在はとても充実した毎日が過ごせて一生の思い出となった。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM STUDY TOUR
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	13912 円	お昼ご飯、夜ご飯共に外食をよくしていました
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3373 円	ESIM で 2 週間 10GB のプランを購入しました
現地通学費	0 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	1931 円	お土産として購入した T シャツ等の衣類
雑費	9692 円	お土産、日用品
その他	3780 円	例: 交通費、娯楽費、洗濯費
合計	32688 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 日本円で 3 万円を留学費用として用意し、現地の市街の両替所で両替しました
(空港にも両替所がありますが、レートがあまり良くないのであまり多くのお金を空港では両替しないことをオススメします)
私は紙幣を崩してはなく、1 万円札で用意していたため、1 万円を空港で両替してしまいましたが、空港では最低限の日本円だけ
両替すればいいと思います。そのため、日本から持ってくるお金もあらかじめ崩しておいた上でお金を持っていくと便利かもしれません
です！
また両替の際にはパスポートの提示が必要なので、常に携帯しておくことをオススメします。

その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカードです。キャッシュレス化が進んでおり、ローカルなお店などを除いてはキャッシュレス決済が便利です。マレーシアでは VISA や MASTER などの国際ブランドのついたクレジットカードが利用できます。ただ JCB のカードは一部の商業施設では使えるところもありましたが、まだ利用できないお店が多かったです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

ESIM を利用しました。他にも同じタイプの ESIM を利用している友達がいたため、友達紹介で少しお得に購入しました。Airalo というアプリで、2 週間 10GB のプランで 3373 円で購入しました。日本で事前に申し込みや設定をしておき、到着後に対応する ESIM の回線の方につなげるだけですぐに利用が開始できました。私は主に、連絡、調べ事、位置情報の確認だったり様々な用途で頻繁に利用している方でしたが、結果的に 8GB ほどしか使用していませんでした。大学内では wifi が利用でき、授業がある日は授業が終わるまで wifi を利用していたこともあり、10GB ほどで十分かなと思います。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

日本から準備して助かったもの水筒や衣類等を乾かすハンガー、除菌シート、ティッシュです。現地の水道水は十分に殺菌がされておらず、飲んだりするのが危険です。そのため、飲料だけでなく生活水としてもミネラルウォーターやウォーターサーバーから水を汲んで利用することが多かったため、水筒がとても役に立ちました。特に私は保冷性のある水筒を持参していきましたが、冷やしておいた水を水筒に入れて保存することで、外で暑い中でも冷たい水を飲むことができ、よかったです。ハンガーは乾燥機にかけた後もまだ少し衣類などが湿ってしまっていたので、部屋の中で干す際に役立ちました。ハンガー複数と、一つ角ハンガーを持って行っておくととても便利です！衛生上、除菌シートも多めに持っていくべきだと思いました。食事の前後でほぼ毎日使うことが多いです。準備しておくべきだと後悔したものは、日本食と蕎麦畑です。マレー料理は香辛料や油が多く、到着してからすぐのまだ慣れない内は割と早めに現地の料理に飽きが出てきてしまいました。現地の料理に飽きてしまうと、ハンバーガーなどのジャンクフードやお菓子を多く食べたりと砂糖や脂肪の多い食べ物を摂取することが自然と増えてしまったので、途中で一回体をリセットさせて休憩させるためにも、日本のインスタントご飯や味噌汁を持ってくとよかったと思いました。また腸内環境を整える上でも蕎麦畑などといった手軽に食物繊維を摂ることができるものがあると安心だなと思いました。私は現地のダイソーで購入しました！

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒なし ☐あり（問題の内容や相談した人等：バディー）

特記事項：夜タクシーを利用してホテルに帰る途中、交通事故が発生していたことによって道路において警察による警備の強化が高まっていたのか、タクシー乗車中警察官から止められて、パスポートの提示を求められました。パスポートを携帯していない仲間も一部いたため、心配になりバディーに電話で相談をしました。結果的に、全員のパスポート証明をせずに検問済んだため問題は起こらなくて助かりましたが、万が一トラブルに巻き込まれた時に対処するためにも、外出の際は常にパスポートを携帯することをおすすめします。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

デモ情報などはメールの方で在マレーシア日本国大使館から連絡を受け、把握することができました。盗難には遭うことなく、過ごせました。防犯対策として、よく携帯しているスマートフォンはストラップをつけておいたり、外出する際は貴重品などを入れておける肩掛けバックで行動し、貴重品は目から離さず持つようにしていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

大学内での wifi がやや不安定でした。何度も id と password を入力する画面が出てきてしまい、接続するまでに時間を要することが多くありました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可) (コンロはないですが、お湯は沸かせます!)	
4) 感想：(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホテルでの滞在であったため、毎日お部屋の清掃があります。ただ、例えば使用済みのスリッパやタオルが回収されておらず、新しいものに替えられていなかったということもあったりしたので、清掃が入る前の内に、メモなどを残しておくといいのかなと思います。二人部屋でシングルベッドは 2 つあり、寝心地はとてもよかったです。ただマレーシアでは、1 日に 5 回お祈りの時間があり、特に朝 6 時ほどにも礼拝時間を知らせる音が響き渡るので、それで起きてしまうこともありました。ホテルのアメニティーとしてあるのが体を洗う用の固形石鹸しかなかったので、現地でも購入はできますが、液体石鹸を持参しておくとう便利ではあると思います。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
英語の授業では軽い文法の学習や商品 PR の考案について授業を行いました。語学的なレッスンはほとんどなく、設けられている発表や動画撮影の機会に向けて、原稿や資料作りを個人またはグループで行う形でした。サイエンスエンジニアリングコースでは、染料除去をテーマとした実験と、方法・結果・考察などを含めた発表、これからに必要な最新技術や現象についてのお話(AI、摩擦力のお話など)が主にありました。身近なことに対して疑問を持ち、興味を抱くようになりました。ただもちろん授業は全て英語で進行していくのと、その 1 日で話すテーマが絞られているので、自分が今までにあまり馴染みのない科学的な現象や問題に対してのお話であると、頭になかなか入らないということは多くありました。
2) 課外プログラムについて
授業は 2-3 時間ほどで、english course、engineering course、研究室訪問などがあります。また日本語カフェでは、日本に興味のある現地の学生たちと交流する機会もありました。その場を通して仲を深めた人たちと食事や遊びに行ったりすることもありました！！
3) 現地での生活に関すること
現地では GRAB というタクシーアプリを用いて、移動することが多かったです。4-6 人で乗ることが多く、みんなで割り勘をするお手頃でもありよく頻繁に利用していました。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
大学内でのアクティビティーでは、ボーリングゲームをしたり、伝統的な遊びを体験する時間、日本語カフェでの交流がありました。授業においては、マレーシアのデザートと一緒に調理して、試食をする機会がありました。他にも buddies とは、さまざまな観光地やスポットに案内してもらったり、一緒に周ったりすることが多かったです。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業が終わった後などに行く外出では、Buddies の方々を誘って、KLCC モールの方へ行き、ショッピングや夜景を楽しんだり、おすすめの料理屋さんに案内してもらうことが多くありました。特に授業のない 1 日の時でも、皆でゲンティンハイランドという大きなテーマパークに行く機会がありました。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

特に印象に残った体験は、モスクへの訪問です。モスクとはイスラム教の礼拝堂です。礼拝を行う神聖な場所であることから、女性は髪の毛や肌を露出してはいけないというルールがあります。現地では、ローブの貸出があり、実際に着用しながらモスク内を周回しました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

マレーシアでの 2 週間の日々は、朝から夜までが充実したスケジュールでした。午前中に学内施設の訪問や英語での科学的な内容の授業、発表などをし、午後には外出(ショッピングモールに行く、ナイトマーケットに行く)をすることが多かったです。また時には授業がなく、皆で大学のバスを利用して移動し、観光地をまわったり、各自で行きたい場所を決めてタクシーなどを利用して(Grab)行く機会もありました。現地の学生(buddies)は本当に寛容で優しい人たちばかりで、日々の生活や現地の観光、外出をする時までとてもお世話になりました。日本人にとって辛すぎると感じるものは避けるような提案をしてくれたり、衛生上注意した方がいいもの、換金する場所などを教えてくれました。

この研修でのアドバイスは、リスニング力を事前に鍛えておくこと、現地ならではの食べ物やお土産、見どころをしっかりと調べておいたり、メモをしとくことです。食べ物は飽きが来やすかったのも、いろんなジャンルの食べ物に挑戦をしてみることをお勧めします。また現地の人たちとの交流や授業の場面で、言っていることが正しく聞き取れなかったりすることが多くあったので、日本にいる間にリスニング力を鍛えておくことより有意義な時間を過ごすことができました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM Study Tour(マレーシア)
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	12500 円	現地で食費としてRM360渡された。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9800 円	esim をアプリで購入した。
現地通学費	0 円	(研修先まで 1～2 分)
教養娯楽費	3000 円	観光地の入館など
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	20000 円	例:お土産、交通費
合計	45300 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出国前に空港で両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
タクシーの Grab アプリはクレジットカードを登録しておくとお便利だと思う。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
出発前に esim をスマートフォンアプリで購入し利用した。多めにギガを買ったが、現地の Wi-Fi に繋げる機会が多かったため、少ないプランでもよかったと思う。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
途中で腹痛になったり、疲れて頭痛が出たりしたので、薬を持っていき助かった。UTM のホテルは周囲に店があまりなく、長くいると店に飽きるので、インスタントの日本食を持っていけばよかったと思う。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省の LINE を登録しておいた。デモが行われるとの連絡がきたので、その日は出歩かないようにした。防犯ではないが、デング熱が流行していると言われていたため、虫よけ対策をした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☐キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

冷房は簡単に調整でき、ベッドや枕は快適で、疲れもあったため、問題なく眠れた。問題点としては、シャワーしかなく、あまりきれいではないところが挙げられる。ホテル内にウォーターサーバーがあるので、安全な水を確保できる。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

プレゼンテーションの機会が多く、また、英語で実験をするという経験ができたのが良かった。英語の授業では AI ツールを使用することが多く、英語が苦手でも問題なかったが、英語の勉強を目的とする人には良くない点であると思った。また、文化を学ぶという観点ではとても良い経験だった。

2)課外プログラムについて

クアラルンプール市内の観光地や博物館、モスクに行ったり、マラッカにも行ったりした。博物館ではマレーシアの歴史や日本との関係性についても知ることができ興味深かった。

3)現地での生活に関すること

水や食べ物が出合わず、体調を崩すことがあるので、日本から食べ物や薬を持っていくとよいと思う。また、現地のトイレはペーパーがないところが多いので、ティッシュを多めに持って行ったほうが良い。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

一緒に観光をしたり、伝統的な遊びを行ったりした。また、授業の時はサポートしてくれた。また、日本語を話すことができる学生もいて、彼らと話す時は日本語になってしまった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

現地学生に誘われて盆踊りイベントに行ったり、おすすめの店に行き食事をした。切符の買い方や電車の乗り方を教えてもらい、貴重な体験ができた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

イスラム教徒の多い国であったため、朝からお祈りの音が聞こえ、目が覚めた。また、現地学生と出かけると途中で祈りのために抜けることがあり、イスラム教徒の生活について少しだけではあるが知ることができた。
日本のように時間に正確に動くわけではなく、集合時間の 30 分後に行動が始まるようなことも多くあった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

マレーシアで半月ほど過ごし、現地の学生と交流することで、彼らが何か国語も話す姿や、研究について熱心に話すところを見て、同じ学生として、とても刺激を受けた。また、この短い期間でも日本とマレーシアの違いを感じ、日本が恋しくなることがあったが、関わった学生の中にはマレーシア出身ではない学生もあり、海外の大学で勉強をする志に感銘を受けた。
私は、今後長期的な留学をする可能性を考えて今回の短期留学に参加したが、やはり慣れない環境で生活するのは大変だと感じた。そのため、まずはやりたい研究や学びたいことを明確にして、その次に海外で学ぶことについて考えようと思った。
マレーシアの人たちは明るく、コミュニケーションを積極的に取ってくれるため、私のような人見知りの人でも、徐々に現地の学生とコミュニケーションを取れるようになると思う。また、一緒に参加した明治の学生は、初対面の人たちであったが、この研修は集団で行動する機会が多かったため、自然と打ち解けた。しかし、一人になれる時間がないので、一人の時間が欲しい人には向いていない可能性がある。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM Study Tour 2024 夏季
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15,078 円	朝食はホテルのビュッフェ、昼と夜は約 12,000 円分の支給がありました。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1,155 円	現地空港にて SIM カードを購入しました。
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 5 分)
教養娯楽費	3,858 円	
被服費	7,140 円	
雑費	300 円	
その他	21,926 円	例:お土産代、交通費など
合計	49,157 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード(VISA, Master)
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード (現地購入、30G で 1,200 円程度でした) Wi-Fi
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
緑茶パック、うがい薬、テニスボール(体をほぐす用) 薬用のど飴

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
インターネットで事前に調べ、その付近には近づかないようにしていました。大学付近の危険性はそれほど高くありませんでしたが、基本一人で出歩かない、夜外出する際にはバディの方と一緒に行動するといったことを心がけていました。スマートフォンはスマホショルダーで肩から下げ、荷物とともに肌身離さず持っていました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
部屋の Wi-Fi は問題なく接続できましたが、大学の WiFi は繋がらないことが多々ありました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
2 人の相部屋でホテルの 18 階に宿泊しました。高層階からの眺めは非常にきれいでした。毎日ベッドメイキングをしてくださるので、滞在中気持ちよく過ごすことができました。貴重品等はスーツケースに入れて鍵をかけておくとういと思います。部屋は非常に乾燥するので、マスクをして寝ていました。ローカルなお店での支払いや交通費などの割り勘など現金が必要となる場面が多々あるので、ある程度現金を持参することをおすすめします。ホテル内にクレジットカードを使用して現金を引き出すことができる ATM が設置されていましたが、エラーで引き出せない人が多く見られた上、両替所がすぐそばにはないような環境でした。私は 3 万円程度を両替して持参しました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
16 日間で English, Culture, Engineering の授業を受けました。様々な分野に触れる機会があったため、毎回の授業が新鮮でした。新たに得る知識や知見も多く、授業の内容も非常に濃かった印象があります。先生方は優しく、私たちが理解できるまでゆっくりと説明してくださいました。発言の機会も多くあったのでコミュニケーションスキルの向上、臆病な心の払拭につながりました。Engineering の授業では、白衣を着用して化学系の実験を行う日がありました。専門用語の英語は難易度が高いと感じましたが、理系学部 of 学生は興味津々に取り組んでいました。上記の通り、様々な分野を幅広く学び体験するプログラムであるため、英語力を特に強化したいという方には他のプログラムをおすすめします。
2) 課外プログラムについて
今回のプログラムでは授業日以外に計 4 回のツアーがありました。バス移動で丸一日かけて 6 か所程度の観光名所を訪問したため、国立の博物館、美術館、モスクなど有名な観光地はおおよそまわることができたと思います。各所でガイドの方が英語での解説をくださったため、マレーシアの歴史や文化の学びに非常に役立ちました。このツアーはバディの方々も一緒にまわるため、現地の人々の考え方やマレーシアの現状についても会話を介して知ることができました。
3) 現地での生活に関すること
今プログラムで最も魅力的に感じたのはバディの方々の手厚いサポートと距離の近さです。Free Day に自分達だけで出かける際に行先をバディの方へ連絡すると、常に心配をしてくださっていました。何か困ったことがあればすぐに相談にのってくださいました。夜、ローカルなおすすめのごはん屋さんに連れて行ってくださったこともありました。バディの方々がいなければできないような貴重な経験をたくさんさせていただき、心から感謝しています。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
Nihongo Café というイベントで現地学生と日本語で会談する機会がありました。現地の伝統菓子を頂きながら、自分のこと、学んでいること、将来の夢、趣味などを語り合いました。19 歳から 26 歳まで幅広い年齢の方と交流することができてとても楽しいひと時でした。日本の魅力やマレーシアの好きなところも伺えたので、異文化理解にもつながりました。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外では、バディの方とのたわいもない会話や昼食や夕食を注文する際にお店の方とお話することで交流していました。気さくな Grab(タクシー)の運転手の方は日本からきたことを伝え、ありがとうなどの日本語のあいさつをしてくださることもあり、とても嬉しかったです。自分たちも少しのマレー語で返答することで、より会話が盛り上がり交流を深めることができました。

異文化体験について
1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
最も違いを感じたのはトイレです。水洗トイレで洋式があることは同じですが、現地の人々は紙を使用せずトイレ横に備え付けられたホースから出る水を使用して洗い流します。そのため、トイレに紙がないことが多く床は濡れていることがほとんどでした。また、マレーシアの国教はイスラム教であるため 1 日に 5 回礼拝されます。早朝は毎朝 6 時に「アザーン」といわれる礼拝の呼びかけが外から聞こえてきました。マイクを通した声であるため日本の夕焼けチャイムほどの音量でした。大学や大型ショッピングモールにはトイレのような間隔で個室の礼拝所が設けられていて、日本にはないイスラム教の文化を感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は日本を出た経験が一度もなく、この研修で初めて海外を訪問しました。研修中はバディの方々と会話を楽しむことを意識して過ごしました。英語力だけでなくコミュニケーション能力・自己表現力の向上や異文化の理解など新たな感性も身につけることができました。授業では、プレゼンテーションの構成や聴衆を引きつけるため言葉選びを学びました。SHYにならずに自信をもつよう先生方が何度も呼びかけてくださったので、現地では胸を張って積極的に発言をすることができました。日本の授業とは異なり、先生との言葉のキャッチボールや自分の意見を発表する機会が非常に多くあると感じました。恥ずかしさを捨て受け身にならず、自分から進んで発言すると授業がより楽しくなると思います。授業外の観光で最も印象的だったのは、建物の高さです。マレーシアは地震がない国といわれており、日本では建設できないような高さのビルや商業施設が立ち並んでいました。特にマレーシアの夜景は過去一番に美しいと感じたのでぜひ楽しみにしてほしいです。ホテルから車で15分ほどの場所に大型ショッピングモールが数か所あり、万が一何か忘れ物をしてもそこで購入することができました。16日間のマレーシアでの経験は自分を大きく成長させてくれました。これまでは苦手意識のあった人前での発表でも、現地での先生方の教えを思い出しながら自信をもって取り組んでいきたいです。初めての海外、初めての留学をこのプログラムで経験することができて本当によかったと思っています。留学を決意し応募するまで不安や迷いがたくさんあると思いますが、ぜひ一歩踏み出して貴重な体験をしてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM Study Tour(マレーシア)
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	13,067 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	15,680 円	ドコモ海外利用 世界そのままギガ
現地通学費	0 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	6,429 円	
被服費	1,944 円	
雑費	15,202 円	
その他	300 円	例:洗濯代
合計	52,622 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替、足りない分は市内の両替所
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
タクシーやお店によっては渡さないといけないうちの釣りの量が多くなるため、大きいお金を受け取ってくれないことから大きいお金しかない時はクレジットカードが役に立った。また JCB は利用できる箇所が限られているため VISA のクレジットカードが役に立った。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
「ドコモ海外利用」アプリの「世界そのままギガ」を利用した。アプリで購入したためマレーシアに着いて、スマホの設定のモバイルデータ通信の切替を行うだけで利用できた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホテルに簡易的なものはあったが量が少ない。またお店でも購入はできる量が多いため、使い慣れたシャンプー&リンス、ボディークリームを準備しておいて良かったと思う。また、マレーシアはトイレペーパーを使う風習があまりないことからモールや観光地先のトイレにトイレペーパーがないことがあるため、水に流せるポケットティッシュを準備した方がいい。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 夜にタクシーでホテルまで帰っている途中で警察に止められてパスポート提示を求められた。ただパスポートの提示だけを求められるだけでなぜ提示しないといけないのかといった状況を教えてもらえなかったのと一人パスポートを持っていなかったことから現地のパディーの方に連絡した。結局、数人のパスポートの確認だけで解放されたため特に被害はなかったが怖かった。) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地の危機地域情報は在マレーシア日本国大使館からのメールで入手していた。1 日だけクアラルンプール市内でデモの開催が予定されているという情報があったのでその日は外出を控えた。また、盗難などを含む犯罪に巻き込まれることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
携帯電話やインターネットについて現地での利用や接続に問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
先ほどの通り使い慣れたシャンプー&リンス、ボディークリームを準備することをアドバイスする。また文化の違いからトイレペーパーの補充やバスマットの交換などされていなかったため置き手紙で欲しいことを頼んだ。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業で前に出て意見の発表やデモンストレーションをすることが多かったため、人前に出て発表することに対して自信がついた。その一方で日本語を話することができるバディーの方がいたためもう少し英語を使ったコミュニケーションをしたかった。
2) 課外プログラムについて
時間はキツキツだったが、trip でマレーシアの主要な観光地に行くことができたと思う。普段の旅行では絶対に回りきれない数の観光地を訪れることができたため、濃い2週間だった。
3) 現地での生活に関すること
マレーシアはイスラム教を信仰している人が多いため、朝 6 時くらいに街中にイスラム教のお経が流れるなどといった現地でしか体験することができないイスラム文化を体験することができた。最初は戸惑ったがだんだん生活にも慣れ、今では貴重な体験をすることができたと思う。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
プログラム内で現地学生にマレーシアの伝統的な遊びであるチョンカなどの遊び方を教えてもらい、実際に体験した。初めは少しルールが複雑で難しく感じていたが何回かするうちに理解でき楽しむことができた。チョンカにハマリ、実際に遊び道具を購入し夜ホテルでやっている学生もいた。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外ではおすすめのモールや食べ物を教えてもらい、実際に連れて行ってもらった。マレーシア料理や夜市を体験した。マレーシアの料理だけでなく、バディーの出身地のパキスタン料理なども食べに行き、食べ方も教えてもらった。また、バディーとババ抜きや大富豪などトランプをして遊んだ。

異文化体験について
1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
マレーシアはトイレペーパーを使う風習があまりなく、トイレ内にバケツやホースがありそれを使って洗浄する。早朝からお経のようなものが街中に届くように放送される。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は新しいことに挑戦しようという気持ちからこの研修に参加した。研修の初めは生活や食に慣れず、バディーには「Is it spicy?」くらいしか話しかけることができなかった。日が経つにつれ、授業が始まり人前で発表することや、バディーと仲良くなれたことで、だんだん生活や英語にも慣れ、自分に自信がついた。最初は時間が経つのが遅いと感じていた研修だったが途中から時間が過ぎるのが早く感じられ、濃くもありあっという間の2週間だったと思う。今ではこの研修に参加して良かったと心の底から思うし、新しいことに挑戦することの大切さを実感した。また、挑戦することによってたくさんのことが得られた。新しいことに挑戦することに不安や勇気を出せない人に、思い切って挑戦してみることをアドバイスする。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	UTM Study Tour 2024
-----	---------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10,000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩3 分)
教養娯楽費	30,000 円	
被服費	円	
雑費	40,000 円	
その他	400,000 円	例: 研修費
合計	約 500,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地の空港の Currency Exchange、現地の May Bank(ATM)などを利用
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
私は基本的にクレジットカードが使える場所ではクレジット払いで、Grab などを使って友人と割り勘をしなければいけない時は現金が必要だった。また、ご飯用の現金は大学側から二日目に支給されたのであらかじめあまり両替する必要はないように感じた。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Docomoの「世界そのままギガ」というプランを使ったので、SIMは利用していない。また、大学でもホテルでも Wifi が十分使えた。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
整腸薬は絶対に持っていくべき。一度もおなかを壊すことは無かったが、常に栄養に偏りがある食生活だったり、基本料理が辛いので薬を多めに持って行って損はないと思う。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項: 一度夜中にGrabタクシーを利用した際に、警察に車を止めてIDを見せるように言われた。パスポートを持っていなかったが、なぜか開放してもらえた。その際は Buddies の人に電話で相談した。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
デモなどの危険情報は大使館からの危険周知メールや Buddies の人から聞いた。スマホにチェーンを付けたり、ホテルから出る際は必ず貴重品を全部持ったり、スーツケースはその都度鍵をかけるようにしていた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題は全くなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ホテルは小さい虫がいたが、それ以外はきれいでベッドも寝心地が良かった。人数の関係で一人部屋になる人と相部屋になる人がいるため、一人部屋希望の人はそれをあらかじめ伝えてもらおうと良いかも。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業はプレゼンテーションをする機会がたくさんあり、みんなの前で英語で話すことの練習を多くできた。また、先生方もとても優しく楽しい授業だった。プログラムには授業だけでなく、観光の日やフリーの日もあるので、自分の印象としては勉強よりも観光の時間の方が長くて毎日がとても充実していた。現地学生の Buddies 達がずっと助けてくれるので、とても安心だし仲良くなれて一番良い点が Buddies 制度だと思った。
2)課外プログラムについて
まる一日観光の日が3、4日くらいあり、とても楽しかった。一日で本当に多くの場所に連れて行ってくれるので疲れるが、それ以上に充実してとても楽しい。フリーの日も3日あって、動物園や遊園地などに Buddies 達が連れて行ってくれた。放課後も Buddies にショッピングモールやお勧めのご飯屋さんなどに連れて行ってもらったので課外活動がとても良かった。
3)現地での生活に関すること
イスラム教が生活の節々に感じられて、とても興味深かった。また、気候は日本の夏とほぼ同じでずっと暑いし、かなり頻繁に雨が降った。食べ物は基本全部辛いので、なるべく辛いものを現地の人に聞くと良い。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
Buddies が常に留学生活で助けてくれるのでとても頼りになるし、英語を使う機会だけでなく、彼らに日本語を教えたりなど様々交流した。また、Buddies 繋がりで知り合った現地学生や留学生などもいた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外では、一緒にご飯を食べに行ったり、ショッピングモール、遊園地などに連れて行ってもらったなどした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
イスラム教の国なので、常にイスラム文化と生活していた。例えば、Pray Room と呼ばれるお祈り専用の部屋が、ホテル、大学、ショッピングモールなどどこにでも設置されていたり、毎朝6時半ごろに町の中心部から男性が祈る音声が大量で流れたり、豚肉が入った料理もお菓子もないことなど様々な点で、日本と大きく異なる文化を体験した。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この留学プログラムを通して、英語での会話やプレゼンなどたくさん英語を使う機会があったり、観光も毎日できるのでとても充実した2週間を過ごすことができると思います。忘れられない思い出や経験をたくさんできるので、本当にお勧めのプログラムです。ぜひ参加してみてください。 また、参加を決めた方は思い切り楽しんでください！！
